



Wooden Building Blocks Activity Set

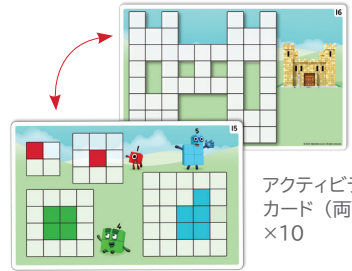
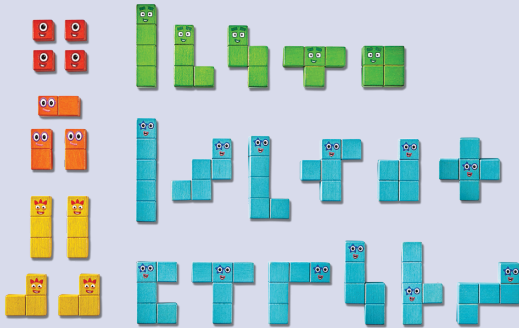
ナンバーブロック 木製ブロック アクティビティセット

はじめに

ナンバーブロックの木製ブロックを数えたり、積み上げたりして創造力を発揮しましょう！数える、足す、引く、サブタイジング（一目で数量を認識すること）、問題解決力などの様々な初期の算数スキルを、ナンバーブロック①～⑤を使ったアクティビティを通して身につけていきます。

セット内容

木製ブロックピース×28
(ナンバーブロック①×4、②×3、③×4、④×5、⑤×12)



アクティビティ
カード（両面）
×10

巾着袋×1



はじめよう

まずは、ナンバーブロックのすべてのピースを、ブロックの数ごとに分けて5つの山を作るよう子どもに言いましょ。

同じ色のピースは同じ数のブロックでできていることを教えてあげてください。ブロックの数が多ければ多いほど作れる形は増えますが、形が変わってもブロックの数は同じです！

練習を重ねることで、子どもはサブタイジング（数えずに一目で数量を認識すること）ができるようになります。



ヒント：ピースの片面にはキャラクターの顔が描かれています。ナンバーブロックたちが自分のブロックを回転させたりひっくり返したりするように、自由にピースを動かして遊んでみましょう！

アクティビティ

※解答例はガイドの最後をご覧ください。

■カード 1・2・3・4

スキル：数の数え方・5までの足し算

それぞれのカードには、ナンバーブロック①～⑤が変身できる様々な形が描かれています。ピースを1つ選び、ブロックの数を数え、カードにある同じ形のマスやナンバーブロックのイラストの上に置きましょう。

次に、いくつかのピースを組み合わせてマスを埋められるか試してみましょう。小さい数から始めます。どの数を組み合わせるとどのキャラクターができるか考えてみましょう。例えば、右図のようにナンバーブロック①と②を組み合わせると③ができます！（ $1+2=3$ ）



■カード 5・6・7・8・9

スキル：数の数え方・10までの足し算

これらのカードでは、ナンバーブロック⑥～⑩が登場します。カードにあるそれぞれのマスの数を数えて、そこを埋めることができるピースの組み合わせを探してもらいましょう。

「 $3+3=6$ ！」のように、計算式を声に出しながら進めていきましょう。

ヒント：難しい場合は、ナンバーブロック⑤を先に置いて、残りのスペースをどのナンバーブロックで埋めることができるかを考えてもらいましょう。「5」と他の数字を加えることは、幼児期の重要な算数スキルです。この学びが実際に見られるエピソード「Five and Friends」もぜひご覧ください！

カード9には、形の異なるナンバーブロック⑩のイラストが描かれています。ナンバーブロック⑤と他のお友達を組み合わせてピースを置いてみましょう。2種類のユニークな形のマスは、どちらも2つの⑤を使って埋めることができます。どの組み合わせか分かりますか？

■カード 10

スキル：11～20の数を作る・10と1の足し算

11～20までの数作りにチャレンジしましょう。このカードには、10個のマスとくっついたナンバーブロック⑩が描かれています。

まず、⑩のブロックの数を数えて、隣の1番下のマスに①を置きます。「 $10+1=11$ 」と計算式を声に出して言いましょう。同じように、 $10+2$ 、 $10+3$ …と、5までのピースを使って繰り返し行いましょう。

16～20を作るには、⑤とお友達（①～⑤）を足します。例：「 $10+5+1=16$ 」

チャレンジ：ピースを複数使って、ナンバーブロック②0を作りましょう。どの数を組み合わせると20になるでしょうか？

ヒント：5を4つ使うこともできます。

■カード 11

スキル：15までの足し算、5の倍数で数える練習

このカードには、「ステップ・スクワッド・クラブ」のメンバーが登場します。メンバーはみんな1段、2段、3段…の階段状の形に変身できます。ナンバーブロック①～⑤のピースを使って、ステップ・スクワッドを探してみましょう。

まずは、①と②を使って、いちばん小さなステップ・スクワッド、③を作ってみましょう。

最後は、1番大きなステップ・スクワッドを作れるかチャレンジ！それは、シークレット・エージェントの⑮、つまり「スーパー・スペシャル・シークレット・ステップ・スクワッド」です！（ $1+2+3+4+5=15$ ）全て作れたら、次は⑤のピースだけを使って、⑩や⑮のステップ・スクワッドを作ってみてください。⑤はいくつ必要ですか？（例：⑤を3つ使えば⑮ができます）

チャレンジ：ステップ・スクワッドをカードに寝かせるのではなく、立てて作ってみましょう！

■カード 12

スキル：長方形の特徴

いくつかのナンバーブロックは、ブロックを並び替えることで長方形を作ることができます。カードには、②、⑥、⑧、⑩、⑫の作った長方形が描かれています。まずは、それぞれの長方形がいくつのブロックでできているか数えてみましょう。数えたら実際にピースを組み合わせて作ってみましょう。その他の長方形も作れますか？

チャレンジ：①、②、③をそれぞれ1つずつ使って、⑥の長方形を作ってみましょう。計算式も考えてみてください。（ $1+2+3=6$ ）

■カード 13

スキル：正方形の特性

それぞれの正方形のブロックの数を数えましょう。正方形は縦と横の長さが同じであることを覚えましょう。各正方形の中にある色のついたマスには当てはまるナンバーブロックのピースを置いてください。その周りのスペースは他のピースを使って埋め、正方形を完成させましょう。

■カード 14

スキル：形を組み合わせて新しい形を作る

このカードは「Building Blocks」のエピソードにインスパイアされています。ナンバーブロックたちが協力して、エイリアンが故郷の惑星に戻るのに大きなブロックタワーを作ります。ピースを使ってイラストを完成させましょう。

チャレンジ：ピースを立てて積み重ねて、3Dのブロックタワーを作ってみましょう！

■カード 15、16、17

スキル：ピースを組み合わせて新しい形を作る

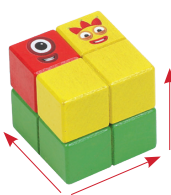
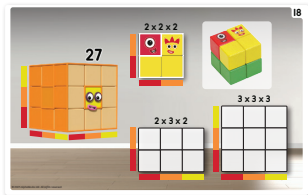
ピースを使ってイラストを完成させましょう。ふしぎな形やお城、ブロックの恐竜など、いろいろな形作りにチャレンジしましょう。

■カード 18

スキル：立体（3D）の形作り

このカードでは、3Dの立方体や長方体を作るための土台を紹介しています。

右上のイラストのように、まずはカードに描かれた土台のマスにぴったり合うナンバーブロックを見つけます。次に、その上に他のナンバーブロックを重ねて、3Dの形を完成させましょう。



ナンバーブロック⑦はとても大きな立方体なので、“3つの⑨”として考えると分かりやすいかもしれません。この方法で⑦を作ってみましょう！

■カード 19

スキル：パターン作り、新しい形作り

このカードには、5×12のマスを描かれています。ピースを使ってイラストやパターンを作ったり、すべてのマスを埋めたりする方法を探してみましょう。

チャレンジ：12個すべてのナンバーブロック⑤をマスに配置してみましょう。すべてのマスをぴったり埋めて、ブロックが端からはみ出さないようにしてください。

■カード 20

スキル：見分けること・同じものを見つけること

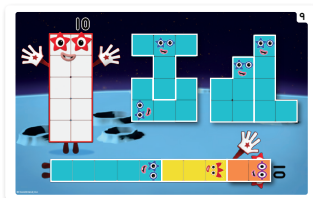
このカードには、すべてのピースのイラストが載っています。形を確認するときの便利な確認カードとして使いましょう。

チャレンジ：カードの中から形を1つ選びます。その形を含む、いくつかのピースを巾着袋に入れます。中を見ずに手を入れて、その形のピースを見つけられるかな？

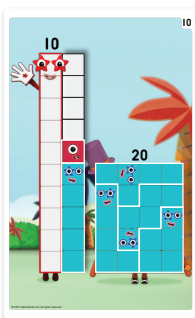
解答例

遊び方や解き方はひとつだけではありません。

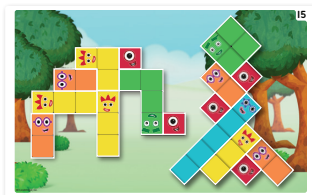
9



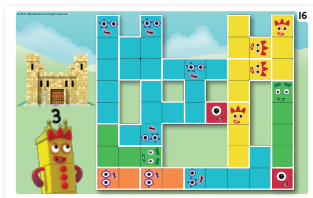
10



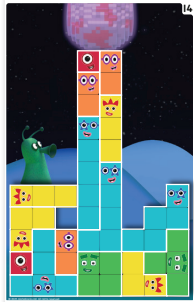
15



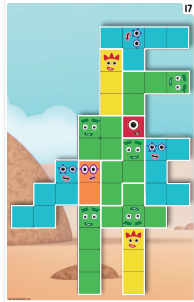
16



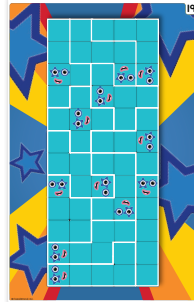
14



17



19



**Dream
Blossom**

発売元：
株式会社ドリームブロッサム
〒880-0123 宮崎県宮崎市芳士607
TEL: 0985-72-6622
www.dreamblossom.jp